

**地域の元気応援します！**  
地域コミュニティ振興事業を募集

市は、活力ある地域づくりを推進するため、町内会や市内で組織される団体の皆さんが取り組むまちづくりの活動に対して、補助金を交付します。この事業を活用して、魅力あるまちづくりに取り組んでみませんか。

- ▷対象事業＝▽地域の一体感を醸成するなど、地域振興を目的としたもの▽歴史や文化・伝統芸能の継承活動や保存を目的としたもの▽自然環境の保全と活用を目的としたもの▽地域で活動する人材育成のためのもの一など
- ▷補助率と限度額＝ソフト事業3分の2以内、ハード事業2分の1以内。限度額は100万円
- ▷交付条件＝①本年度中に事業が完了すること②ほかの補助金や助成金を受けていないこと
- ▷手続き＝事業計画書などの書類を提出してください。申請書は当課のほかホームページからもダウンロードできます。事業の計画がある場合は、事前にご相談ください
- ▷応募締め切り＝12月20日（木）まで
- ▷問い合わせ＝まちづくり振興課（内線250）

**法務局久慈出張所を統合**  
郵送かインターネットのご利用を

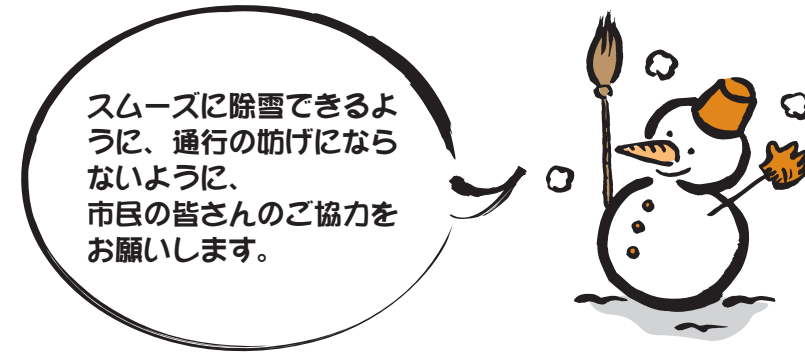
盛岡地方法務局久慈出張所（登記所）は、今年の12月17日（月）から二戸支局へ統合されます。このことから、本市、洋野町、野田村の土地、建物の不動産や商業・法人などの登記事務は二戸支局で行われます。

これまで久慈出張所で行っていた、不動産の登記、各種謄本・抄本などの申請は、郵送またはインターネットを利用して申請してください。

- ▷問い合わせ＝盛岡地方法務局二戸支局（☎0195-25-4811）

今年も雪が降る季節がやってきました。

**除雪にご協力を！**



スムーズに除雪できるように、通行の妨げにならないように、市民の皆さんのご協力をお願いします。

**路上駐車はやめて**  
路上駐車があると、除雪車が前に進めなくなったり、雪をかぶった車に追突する恐れがありますので、おやめください。

**玄関前などはご家庭で**  
除雪は、限られた時間でバス路線を優先して除雪していきます。除雪車が通ると、玄関前に雪が残ることがあります。これは広範囲を除雪するためです。ご理解ください。玄関前に残った雪はご家庭で除雪したり、また、私道や歩道、消火栓の周りには地域で除雪するなど、ご協力をお願いします。

**道路への雪出しやめましょう**  
歩行者や車の通行の妨げになります。道路への雪出しはやめましょう。

**枝の伐採はお早めに**  
雪の重みで枝が垂れ下がると、除雪や通行の妨げになります。妨げの恐れがある立ち木などは伐採しましょう。

**凍結抑制剤など散布に協力を**  
坂道などには凍結抑制剤入りの砂缶などを設置していただきます。散布にご協力ください。また、協力いただける方には凍結抑制剤を個別に提供します。行政連絡区長を通じてお問い合わせください。

**公共交通をご利用ください**  
雪が降ると交通渋滞を招きやすくなります。渋滞緩和のため、できるだけ公共交通機関を利用しましょう。

**路面状況に合った運転を**  
交差点や橋、トンネルなど、凍りやすい地点には凍結抑制剤を散布していますが、路面状況に合ったスピードと安全運転を心掛けましょう。

■三陸国道事務所久慈維持出張所（☎53-2790）■久慈地方振興局土木部（☎53-4990）■市土木課（内線368）■市山形総合支所産業建設課（内線121）

**八戸・二戸・久慈 三圏域連携音楽会**



（上）150人もの大合唱。八戸フィルの演奏に負けない迫力の歌を披露しました  
（下）音楽会終了後、市内の催事場で交流会が開かれました。大成功となった文化交流の後は、食卓を囲んで、和やかに交流しました

**響いた！交流のハーモニー**

八戸・二戸・久慈の3つの圏域による三圏域連携音楽会「こはくのまち久慈音楽会」（同実行委主催、下館洋一委員長）が11月18日、アンバーホールで開かれました。三圏域が、医療や教育などさまざまな分野で連携しようという取り組みの一環。11日には、二戸市民文化会館でも開かれました。総勢約150人の大合唱に、会場からは惜しみない拍手が寄せられていました。

音楽会には、八戸市民フィラハーモニー交響楽団（八戸市）、カシオペア連邦合唱連盟（二戸市）、本市から、コーラスグループ琥珀エコー、久慈高校音楽部、この音楽会のために市民からの公募などによって組織された、こはくのまち久慈合唱団が参加しました。当日は、約500人の観衆が訪れました。各団体による発表の後は、八戸フィルとの合同で歌を披露。アンコールで、総勢約150人が「大地讃頌」を歌い上げると、会場から盛大な拍手が送られました。家族と訪れた嵯峨裕子（栄町）さんは「合唱は、オーケストラに負けない迫力だった」と感動した様子。参加した久慈高1年の大粒来舞花さん、類瀬幸恵さんは「大勢の中で歌えたことが、とてもいい経験になった」、八戸フィルの指揮者を務めた辻正武さんは「地域の人が聴きに来てくれたことが交流の第一歩。いろいろな分野に拡大していければ」と将来を展望していました。この交流は、来年度以降も、輪を広げて続けられる予定です。